

氏名等	立崎 博則 (たちざき ひろのり)	講師
担当科目	[教養科目] 教養キャリア基礎演習Ⅰ、Ⅱ [専門科目] 造形・基礎、幼児と造形Ⅰ、Ⅱ、造形表現の展開Ⅰ、Ⅱ、保育内容「表現」の指導法Ⅰ、Ⅱ、保育技術演習、保育・教職実践演習Ⅰ、Ⅱ、子ども研究Ⅰ、Ⅱ、保育総合表現、保育実務研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	
研究分野	幼児美術、現代アート、ワークショップ	
学位	修士 (芸術学)	
主な教育研究業績	<p>① 学術論文 (単著)</p> <p>立崎博則 (2018) 子ども達の笑顔が見える展示を目指して -主体的な制作活動とコミュニケーションが生まれる作品展の考察-, 青森中央短期大学研究紀要 (31)</p> <p>立崎博則 (2021) 保育者養成におけるストップモーションアニメーションを使ったおりがみ動画による造形表現の指導への効果の考察, 大垣女子短期大学研究紀要 (62)</p> <p>立崎博則 (2022) 造形活動における保育者の素材を選ぶ視点と保育経験の一考察, 大垣女子短期大学研究紀要 (63)</p> <p>立崎博則 (2023) 美術館の造形ワークショップで使われる材料についての調査と考察, 大垣女子短期大学研究紀要 (64)</p> <p>立崎博則 (2024) 表現の失敗から新しい表現を探る造形ワークショップの実践と考察, 大垣女子短期大学研究紀要 (65)</p> <p>(共著)</p> <p>立崎博則、木戸永二、佐貫巧 (2019) 造形表現を考える場としての作品展の実践と考察, 青森中央短期大学研究紀要 (32)</p> <p>立崎博則、名和孝浩 (2020) 保育実習指導における保育表現の実演による実習への不安と意欲の変化についての考察, 大垣女子短期大学研究紀要 (61)</p> <p>名和孝浩、立崎博則 (2020) 保育・幼稚園実習における保育計画の指導の手がかり, 大垣女子短期大学研究紀要 (61)</p> <p>名和孝弘・立崎博則・大橋淳子 (2022) コロナ禍における保育・幼稚園実習に関する指導の方向性, 大垣女子短期大学研究紀要 (63)</p> <p>名和孝弘・立崎博則 (2022) お散歩マップを活用した保育理解の形成, 大垣女子短期大学研究紀要 (63)</p> <p>名和孝弘・立崎博則・宮本絢子 (2023) 保育実務研修の質保障に向けた一考察—科目の現状と今後の課題—, 大垣女子短期大学研究紀要 (64)</p> <p>② 作品展示 (グループ展)</p> <p>あかりのありか (2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018) ギャラリーNOVITA</p>	

所属学会	
社会的 活動業績	<p>2019年, 2020年 教員免許状更新講習「子どもの造形表現とこころ」</p> <p>2020年 山県市保育研究会「子どもと楽しむ造形遊び」</p> <p>2021年 教員免許状更新講習「子どもの造形表現」</p> <p>2022年 大垣市「水都っ子ウィーク！親子で一緒に スタンプやシール、クレヨンであそぼう」</p> <p>2022年 岐阜県「大垣市自転車啓発イベント」</p> <p>2022年 守屋多々志美術館「子どもワークショップ『ダンボールでまちをつくらう』」</p> <p>2023年 三城幼保園園内研修会「絵画・造形について」</p> <p>2023年 大垣市「水都っ子ウィーク！親子で一緒に スタンプやシール、クレヨンであそぼう」</p> <p>2023年 大垣市研究推進委員会企画研修「手作りおもちゃ」</p> <p>2023年 守屋多々志美術館、9月「どうぶつマスクを作って・かぶって動物になりきろう！」、2月子どもワークショップ「ペタペタ！スタンプ遊びでカラフル絵日記をかこう！」</p>
その他	